



# 鋸南復興アクセレーション

## KYONAN FUKKOU Acceleration

令和元年の台風15号・19号における、鋸南町の復興支援活動をするボランティア団体「鋸南復興アクセレーション」（代表、堀田了誓）の広報誌です。



屋根の上で活動する植田さん



## 「困っている人がいるのだから活動していかないと」

### 屋根ボランティア 植田さんインタビュー

令和元年台風15号の発災から、一年以上が経過しました。家屋の復旧は進んでいますが、まだ雨漏りやカビで悩んでいる方がいらっしゃいます。私たちの団体は、そんなお困りごとを電話などで受け付け、その後、現地に行って調査し、地元で活動する技術系ボランティア団体に引き継いでいます。今回は、鋸南町で活動する技術系ボランティア団体の一つ、Revive（リヴァイブ）の植田啓介さん（43）を紹介します。

植田さんは昨年、台風で被災したとき、岩井袋に住んでいました。「台風に遭ったときは、これはまずいなと思い、靴をはいて一夜を過ごしました。朝、起きてみると、被害にあっている家ばかりで…。自分は被害が少なかった分、申し訳ないという思いが強く、ボランティアを始めました」と話します。

現在は館山に住み、鋸南町に通いながら活動を行っています。「最初は、屋根に上るのは怖かった」という植田さん。「でも、屋根の作業をしていかなないと、復旧や復興は始まらない。ひどい雨漏りをしている家を見るとしんどいと思うこともあります。困っている人がいるのだから活動していかないと、と思います」と語ります。

災害から一年以上が経過している今、痛みが激しくなってきたりしている家屋もあります。「業者ではないので、本施工はできませんが、限りある資材を使いながら、雨漏りしない状態を保てるよう対応しています」と話します。

町内の人には「ボランティアに参加してほしいです」と植田さん。「危険を伴うので、安全対策と技術は教えますので」と笑顔で語ってくれました。

鋸南町では、今でもいくつかのボランティア団体が活動しています。今後、随時、紙面で紹介していきます。（文・清水多佳子）

## 鋸南町復興ボランティアセンター

電話：090-8893-0161 または 070-4281-0644

（平日：9:00～15:00 / 土：10:00～12:00 / 日曜、祝日は休み）

所在地：鋸南町保田560（鋸南町ボランティアセンター内）

道の駅  
保田小学校



## 受け付けている相談ごと

無料で  
対応します

- ☑ 雨漏りがしている
- ☑ ブルーシートがはがれそう
- ☑ 天井や壁にカビが発生している



去年の発災当時から今年の3月までに、ボランティアのお願いをしたけれど、未だに対応を待たれている方がいらっしゃいましたら、再度連絡をいただきますようお願い申し上げます。



090-8893-0161

または 070-4281-0644 まで。

<平日>

9:00~15:00

<土>

10:00~12:00

## 内宿地区で足湯とお茶会のイベントを行いました！

10月28日、鋸南町の内宿地区で「足湯とお茶会」を開催しました。午前10時から午後1時までの間に、20人近くの方にお越しいただき、ご近所のみなさまと歓談していただきました。コロナの感染拡大を防ぐため、各種イベントが中止になっており、人と交流する機会が少ない中、「友達と会えないのがさびしい」という声を聞きました。

イベントで使うお湯がなくなると、お湯を沸かして持ってきてくださる方がいたり、足湯の桶が足りなくなると、家から桶を持ってきてくださる方がいて、地区のみなさまにはイベントづくりにも携わっていただきました。ありがとうございます。コミュニティの力を感しました。



当団体の「足湯とお茶会」を開催してほしいというご要望がありましたら、メールまたはお電話にてお問合せください。

【編集・発行】

鋸南復興アクセレーション編集部

〒299-1902 千葉県安房郡鋸南町保田 350 (鋸南エアルポルト内)

当団体は、休眠預金等活用事業(2019年度)の助成とフィリップモリスジャパン合同会社の支援を受けて運営しております。なお、2019年12月～2020年9月まで赤い羽根共同募金の支援を受けました。

フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/kyonan.fukkou/>



ホームページ

<https://kyonanacceleration.org/>